

は じ め に

北海道立衛生研究所報第 59 集をお届けいたします。

今年で当研究所は設立 60 年を経過いたしました。これまでの先達のご尽力とご業績に対し、深く感謝申し上げます。

平成 20 年度の調査研究事業は 58 課題を実施いたしました。その内訳は道費による重点領域特別研究 3 課題，一般試験研究 15 課題，民間等共同研究 3 課題，受託試験研究 3 課題，外部資金活用研究 3 課題及び国・団体等の助成研究費による応募研究 28 課題であります。応募研究のうち文部科学省科学研究費補助金による研究では研究代表 1 課題，分担研究 2 課題が新規に採択されました。

本所報におきましては総説 1 編，調査報告 2 編，ノート 17 編を掲載いたしました。その他，所外の学術誌への投稿 24 編，学会発表 47 編，報告書 28 編等の研究活動成果をもお示ししております。

地方衛生研究所が果たさなければならない試験検査，調査研究，公衆衛生情報の収集・解析・発信等の日常業務の中から得られた種々の知見および学術的成果を記録として残すことは試験研究機関の大切な役割のひとつであります。

この所報は，それぞれの研究者の一年間の総括ともいうべき業績の集大成であり，その内容によって当研究所の学術的評価が下されると言っても過言ではありません。内外の厳しい研究評価を受けることにより，日ごろの業務内容を自ら客観的に見直すことができ，また，学会発表や学術誌への論文投稿は各々の専門分野における研究内容を他の研究者から評価・査定していただく絶好のチャンスでもあります。

そして所報のもうひとつの目的は，私たちの一年間の学問的活動の成果を所外の皆様にご理解いただくための広報誌的役割であります。

日常業務，技術指導等の傍ら，こうした自らの活動内容を記録することの意義と重要性を理解された投稿者，そして本所報の学術的レベルを支えるべく長時間，精力的に査読，校正に尽力いただいた編集委員の各位に深く感謝いたします。

これからも研究職員諸氏のより一層の研鑽と，関係各位からの真摯な評価とご支援をお願い申し上げます。